

事務事業 No./名称	■サービス部門 市民-06 勤労者福祉支援事業					タイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門					1053	勤労者福祉支援事業	
主管課	市民活動課		関連課			1231	勤労者福祉サービスセンター助成事業	
分野名	勤労者福祉							
目標 (目標値)	(社)鎌倉市勤労者福祉サービスセンターの活動を支援し、勤労者福利厚生事業の充実を図る。							
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考				
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)				
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯					
運営資源 状況	決算値	31,740千円	31,491千円			指標と評価		
	(国・県)	8,600千円	8,600千円			指標	提供事業の利用者数	
	(負担金等)					評価	◎	
	(一般財源)	23,140千円	22,891千円					
	人員配置数	0.5人	0.5人			◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	人件費	4,449千円	4,463千円				目標値	実績値
	協働の パートナー					20年度	9,500人	12,185人
事務事業 運営経費	総事業費	36,189千円	35,954千円			21年度	9,500人	14,202人
	市民1人当 りの経費	205円	204円			22年度	15,000人	
	対象者1人 当りの経費					23年度	15,000人	
ベンチマーク (県内外自治 体や民間団 体との比較 値)	団体名	鎌倉市	厚木市	藤沢市	大和市	三浦半島広域		
	中小企業勤労者数	46,954人	99,255人	123,435人	73,771人	155,894人		
	会員数	3,124人	5,015人	7,289人	4,040人	1,045人	最終年度 (年度)	
	加入率	6.7%	5.1%	5.9%	5.5%	0.7%		
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ・他市のサービスセンターの現状は様々であり、それぞれの団体が問題点を早急に克服することは難しいのが現状である。						
	創意・工夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ・サービスセンターが設置されている市や法人化以前の団体を持つ市と情報交換を行い、平成22年度で国庫補助が終了した後の法人の維持について連携の可能性を模索したが、結論を得ることはできなかった。						
	未解決の課題・問題 点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ・各市サービスセンターの業務を集約し合同で行うことはスケールメリットが得られることからサービスセンターの広域化を目指しているが、現状では各市団体ともに公益法人化に向けての準備作業を行っており、広域化していくための検討は後回しになっている状況である。サービスセンター会員への質の高い福利厚生を提供するために、長期的なサービスセンターのあり方を経営的視点からも方向付ける必要がある。						
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ・事業継続のために公益法人化が無事行われるようサービスセンターを指導していく。なお、サービスセンターが広域化することによってスケールメリットが見込めることから、公益法人化後には広域化に向けての検討を推進するようサービスセンターに働きかける。						
一次評価(課長評価)					二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了								
評価結果	改善の必要性	中期的には廃止される国庫補助金相当額をサービスセンターの工夫による経費削減で相殺することが目標であるが、長期的には市からの運営費補助の一部についても自主財源から賄えるよう組織の見直しが必要である。			評価結果	改善の必要性	会員にサービスが提供されることを前提に、サービスセンター自体は他市サービスセンターとの合併も視野に入れて広域化を検討していく。	
B	有				B	有		
課長名		三上 周二			部名・部長名		市民経済部・小磯 一彦	